

JETRO 日本貿易振興会 English

海外の経済/産業情報がほしい | 海外の企業と取引したい | 日本の経済/制度情報がほしい | ジェトロについて

TOP>ジェトロについて>国内事務所>金沢>石川県貿易・投資関連情報>セミナー 講演録>

金沢

新着情報 | 石川県貿易・投資関連情報 | 石川県貿易・投資関連リスト | ジェトロ金沢のご利用案内

大競争時代、石川から香港へ、そして世界へ！

西 尚喜 川西香港有限公司社長

(1999年6月25日、金沢にて開催した香港セミナーにおける講演記録です)

ただいまご紹介いただきました川西電器の西と申します。
 本日の香港セミナーに私どもが招かれた背景と、私どものような非常に小さな企業がなぜ香港へ進出したかについて、私どもの経験が皆様方のご参考になればと考えながら、話を進めていきたいと考えております。

< 進出の背景 >

まず、私どもの会社は川北町にあります。田んぼの真ん中の、非常にのどかなところで、川北町に会社を設立した経緯は、労働集約的で賃金が安いことがポイントでした。簡単な電子部品、電線を加工する仕事を、昭和39年から始めて現在に至りました。90年代にさしかかると、円高の非常に急激な伸びによって、価格の要請、海外調達等、お客さんから私どもへの海外での生産のニーズが非常に高まってきました。そんなことから、私どもが海外でいかに仕事ができるかという判断ができなければ、単純に言う取引が細くなっていくというのが90年代の初めでした。当社は非常に小さな企業ですから、投資をかけて海外に出ることなど、とても考えられないことだったのですが、香港やインドネシアを調査して、最終的に香港で事業をしようとの判断をしたわけです。その際には、石川県の香港事務所のアドバイスも非常に参考にさせていただきました。

< 不安と驚き >



香港は非常に発展しているわけですが、実は広東省という中国の非常に大きな省で、電子部品・電子機器などが大量に生産されているのです。そういった背景によって、香港の発展があると私は思っております。92、93年と香港を訪問しまして、広東省の深センという経済特別区に初めて入りました。経済特別区は中国政府が改革開放のもとに、いくつかの地域を限定して経済を開放しようとした地域です。もちろん経済特別区でそれなりの生産がされているのは当然なのですが、私どもが入ったのはその経済特別区からさらに車で1時間ほど入ったところで、そこで大量に女工さんを使った人海作戦でいろいろなものが生産されているのを目の当たりにしまして、驚きと不安といいますか、とても私ども川北町のコスト対応ではいけないなと思いました。そういった不安もあったのですが、やはりここで仕事をしようと、将来私どもの川北町においてはとても価格の競争力はないと判断しまして、93年にコンペア1本と、女工さん6人で、おそろおそろながらも仕事をスタートしたわけです。

< 香港の果たした役割 >

香港での会社の設立ですが、香港では法人の設立が非常に簡単にできます。そのために香港には非常に多くの会社があります。また、少ない資金でできることも、私どもの香港への進出の一つのポイントになりました。

現在、香港からは、委託生産というかたちで、広東省の経済特別区また特別区以外へ、大量に仕事が出ています。当然香港でも人件費が上がってきているので、香港の製造業そのものも広東省への移転がかなり進んでおります。また、逆に生産された多くのものが香港に戻ってきて、そこからまた世界各国へ輸出されているのが現況です。

また、先程もお話のあったとおり、香港には2000社あまりの日本の会社が出ていますから、私どものお客さんなりいろいろなところをたどっていきますと、私どもの指南役になってくださる経営者も多くいらっしゃるので、そういう先輩方のアドバイスを受けながら、おそろおそろ事業を進めてきたわけです。

< マルチメディアとコミュニケーションの発達 >

そんな中で私どもの会社が中国で仕事を始めました」とお客さんに話をしたところ、思ってもみなかったことに「向こうで仕事をしよう」といういくつかの話から一つの仕事が決まりだんだんと私どもの事業が安定化に入っていくという経緯がございます。

95年からはフロッピーディスクの部品や携帯電話の部品、97年よりマルチメディア用スピーカー、光ピックアップの部品などを徐々に手掛けるようになっていきました。なかなか世の中、予測はできなくて、携帯電話がこれほど爆発的に売れるとは想定していなかったのですが、たいへんな物量をこなすためには、やはり非常に大量かつローコスト(低価格)でなければいけないという事情がありまして、私どもへのお客さんからの発注がかなりの量で増えてきました。

現在、広東省では、情報機器、パソコン用部品において、台湾メーカー、韓国メーカー、香港メーカー、中国メーカー、もちろん日本メーカーが世界市場に対応した数量、超低価格でしのぎを削っています。また世界の市場を相手にしていますから、当然価格も低く、品質も非常に高品質でなければならないというのが、もはや当たり前になっています。ですから、私どもの感覚でいきますと、もうすでに中国でしか生産できない、中国で生産したものを香港を経由して世界の市場に出していくしか方法がないと、現状では考えています。

< 香港への期待 >

そのような背景のもとに、私どもがこれから香港へ期待することは、現在、香港は金融・貿易・物流で非常に特化している部分がありますが、教育にも非常にすばらしいものがありますので、そのような教育を、マルチメディアとかそのようなところへシフトしていくことです。香港と中国とで今まで構築されてきたような補完関係が進んできますと、これからの新しい時代において大競争時代を勝ち抜いていくことが可能であり、さらなる発展になるのではないかと考えております。



海外に出たことよって、私どもの会社の魅力は何ですかと問われたときに、私どもは海外に工場がありますので、価格の問題であれば中国の方で生産させていただきます、また香港を経由して世界のどこへでも供給させていただきますと答えることができるようになります。それが現在、我が社の魅力になっています。世界へ出そうと話すとき少しおおげさかもしれませんが、そのような気持ちで、日本・香港・中国を拠点にして、今後とも活躍していきたいと思っております。

また香港の場合は金融的なものが非常にしっかりしています。そのために中国で事業を展開しても、資金の回収代金の決済などはすべて香港で行っていますので、利益の確保などといった面でも、安心した事業の展開が可能になっています。そのようなことから、石川県の田舎から香港に出て、今後は世界の市場を相手にした大量生産、または超低価格、高品質に挑戦して、事業を進めていきたいと思っております。

私どもの中国の工場なり、香港のシステムが、皆様方のお役に立てるのであれば、遠慮な

くお声をかけていただきたいと思いますし、このようなつたない経験ですが、それがご参考となって、皆様方のこれからの新しいチャンスにつながればと思っています。

[川西電器の紹介はこちら](#)

[検索](#) | [会員サービス](#) | [ジェトロの本](#) | [リンク集](#) | [FAQ](#) | [利用規約](#) | [プライバシー](#)

Copyright © 1995-2001 JETRO all rights reserved.